

区分	専門基礎分野	単位	1単位
科目名	病理学	時間数	30時間
講師名	非常勤講師	履修学年	1 年次
概要	1. 細胞・組織・臓器におこる構造・変化や疾病の成り立ちが、どのように病因と病理変化が関連しているかを理解する。 2.生体に影響を与える免疫・代謝異常・先天異常と老化について理解する。		
学習目標	1.炎症、変性・壊死、循環障害（梗塞・出血）、萎縮・過形成、腫瘍の病理変化を理解できる。 2.各臓器の病理変化を理解できる。		
授業内容			
回数	学習内容	授業形態	
1	病気と病理学・老化と死・老化現象と病気の関係	講義	
2	生体基本反応（組織・細胞に生じる異常と修復、炎症）	講義	
3	生体基本反応（免疫とその異常、止血と循環）	講義	
4	様々な病因と病気（先天異常、感染症、環境による疾患）	講義	
5	病因・病態の理解（癌、生活習慣病、難病）	講義	
6	病理学各論（循環器・造血器・リンパ節・脾臓の疾患）	講義	
7	病理学各論（肺・胸膜・縦郭の疾患）	講義	
8	病理学各論（消化管の疾患）	講義	
9	病理学各論（肝臓・胆道・膵臓の疾患）	講義	
10	病理学各論（内分泌・乳腺の疾患）	講義	
11	病理学各論（腎・泌尿器の疾患）	講義	
12	病理学各論（女性生殖器・男性生殖器・の疾患）	講義	
13	病理学各論（中枢神経系・運動器の疾患）	講義	
14	病理学各論（頭頸部・感覚器・皮膚、軟部腫瘍・小児の疾患）	講義	
15	まとめ・テスト	講義・試験	
使用教科書・教材・参考書			
新体系 看護学全書 疾病の成り立ちと回復の促進① 病理学 メヂカルフレンド社			
成績評価の方法			
筆記試験100%			
備考			
15回全て合同講義			